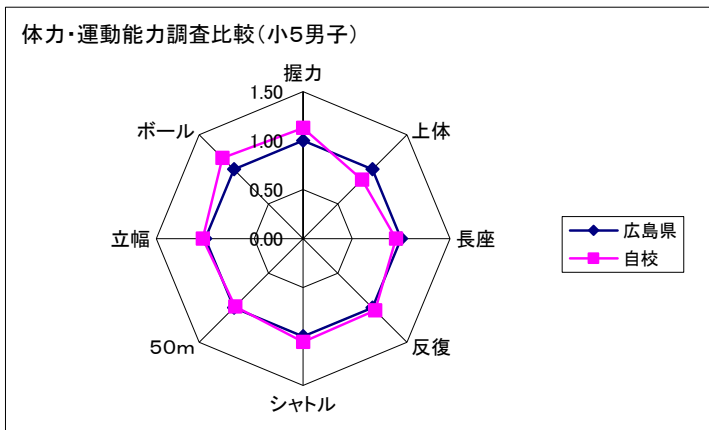
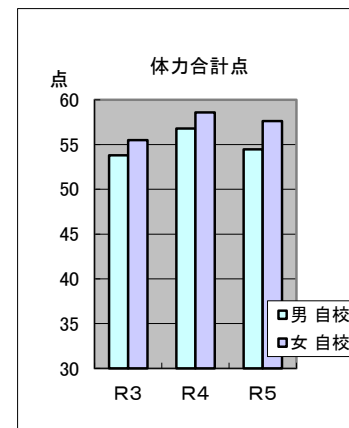
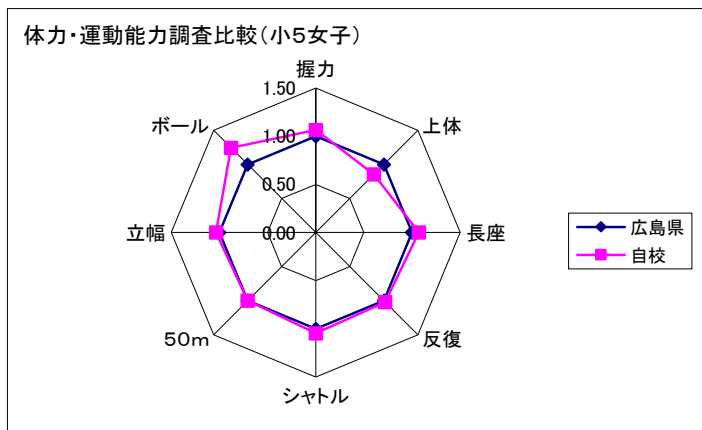


男子の体力合計点 学校 54.48点 県平均 54.16点



女子の体力合計点 学校 57.62点 県平均 56.22点



R5体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析(全学年の状況も踏まえて記入すること)

① 50m走(呉市の課題種目)

・全国平均を上回ったのは、男子が4, 5, 6年, 女子が6年のみであった。低学年において数値が低いのは、走る運動の体験不足から、走ることへの慣れや走り方が身に付いていないことが原因の1つではないかと考える。

②ソフトボール投げ(中学校区の課題種目)

・全国平均を上回ったのは、3, 4, 5, 6年生の男女と、1年生の男子だった。朝の1分間体操で、ボール投げの動作を取り入れたり、外遊びでボール運動をする児童も増えたりしており、多くの学年で効果が出ている。低学年においては、ボールへの慣れや、ボールを使った遊びの体験不足が原因の1つではないかと考える。

③握力(自校の課題種目)

・全国平均を上回ったのは、1, 4, 5, 6年生の男女と、3年生の女子だった。低学年において、ぶらさがったり、強く握ったりする遊びが減少していることが原因ではないかと考える。

④上体おこし(自校の課題種目)

・全国平均を上回ったのは、1, 3, 6年生の男女と、4年生の女子だった。重いものを持ちたり、体幹を長時間維持したりすることに慣れていないことが原因の1つと考える。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目
(50m走)

具体的な取組内容

・「くれ・チャレンジマッチ・スタジアム」のダッシュリレーに取り組む。複数回取り組ませ、記録を校内に掲示し伸びを可視化することで、走ることへの意欲を高める。
・体育の時間に低学年は準備運動に鬼ごっこを行う。高学年は8秒間走週間を設定し、一定時間に自分が走る距離を可視化することを継続指導することで、目標を意識できやすくする。
・タブレットで児童の走る様子を撮影し、動画を見せて走り方を改善する指導に取り組む。

具体的な数値目標
(男子0.2秒, 女子0.1秒)②中学校区の課題種目
(ソフトボール投げ)

具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定)

・「くれ・チャレンジマッチ・スタジアム」のシャトルスローリレーに取り組む。複数回取り組ませ、記録を校内に掲示し伸びを可視化することで、投げることへの意欲を高める。
・体育朝会でボールを投げるコツを指導し、朝の会の「1分間体操」で、ボールを遠くに投げる運動に継続して取り組む。
・低学年は持ちやすい小さめのボールを使って練習し、投げ方を定着させる。
・朝、昼の放送を使って、外遊びをすることを奨励する。

具体的な数値目標
(男子2m, 女子2m)③自校の課題種目
(握力)

具体的な取組内容

・体育の学習の始めに、鉄棒・うんてい・登り棒など握って運動するサーキット運動に継続して取り組む。
・「1分間体操」に手の平の開閉運動を取り入れ、握る動作に意識的に取り組ませる。
・体幹を維持するために、授業時の座り方、立ち方を教室に掲示し、意識的に取り組ませる。

具体的な数値目標
(男子1kg, 女子1kg)
④自校の課題種目
(上体おこし)
具体的な数値目標
(男子3回, 女子3回)

※具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)